

ふるさと」の特色を活かしたまちづくりを

産業創出・観光振興に関する提言



2月2日、雲南市の観光振興について取り組んでいる「歴史と文化を活かした観光開発及び地域活性化研究会（畑亮一郎会長）」が、具体的な観光施策を盛り込んだ提言書を速水市長に手渡しました。

同研究会は、市民や市議会議員など有志20名で構成され、メンバーは「歴史と文化」、「自然景観と休養施設」、「食文化」の3つの班に分かれ、それぞれのテーマの観光振興について検討、実践してきました。

速水市長は「みなさんからの提言をまちづくりへ積極的に活用し、官民一体となり、日本のふるさとづくりをすすめていき

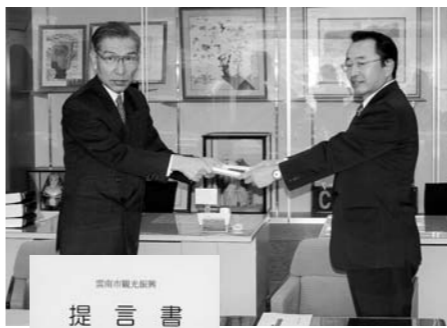
たい」と応えました。

今回提案された提言書の一部を紹介します。

①歴史文化を活かした観光振興（オロチ神話にちなんだ刊行物の発刊、オロチが飲んだ酒造り、縁結びの竹箸づくり、五穀おむすびの販売、ツアーの企画や観光ルートを整備する際の問題点・解決策の提案）

②自然景観と休養施設を中心とした観光振興（「雲南市の10名山」などのパンフレット、市内休養施設マップの作成から得た検討事例、地域間交流や観光客ニーズに着目した調査結果を元にした提案）

③食文化を活かした観光振興（地域別・シーズン別にまとめた地域食材の一覧表の作成など）



救急業務の充実を図る

高規格救急自動車受納式



2月2日に行われた受納式では、日本損害保険協会中国支部島根県保会田上一郎会長より目録が贈呈されると、雲南消防組合速水雄一管理者が「この度の寄贈、大変感謝しています。この車両を救急業務に役立てていきたい。」謝辞を述べ、引き続き、雲南消防本部小林敏雄消防長から「雲南地域の安全確保と救急活動の充実のため更なる努力に努めたい」と決意表明がありました。



掛合保育所はやしこ太鼓の演奏披露もありました

まもなく開設「身体教育医学研究所うなん」

第3回 雲南市身体教育医学研究所設立準備委員会



果報告があり、もたちの健康指導にも繋がること、ぜひ今後とも取り組んでほしい」「結果を盛り込んだ研究所の活動に期待しています」などの意見がありました。続いて、研究所の名称や設置場所、運営形態、活動内容について協議があり、市では、今回の会議内容を踏まえて最終調整を行い、4月3日には、同研究所の開所式を行う予定にしています。

今年4月から設置する「雲南市身体教育医学研究所」の最終となる設立準備委員会を2月6日、三刀屋健康福祉センターで開催しました。

会議では、はじめに、この準備委員会がきっかけとなり、昨年12月から1月にかけて、市内の小中学校・高校の児童生徒を対象とした運動器検診（運動器の10年日本委員会が主体となり、島根県医師会・島根県整形外科医会・玉造厚生年金病院・公立雲南総合病院等の協力で行ったもの）の結

身体教育医学研究所については、準備委員会での承認されました

名称 身体教育医学研究所うなん

所在地 三刀屋健康福祉センター隣接地（三刀屋町三刀屋1-2-1番地3）

運営形態 市が設立、社会福祉法人よしだ福祉会に事業運営委託し、研究所の事業推進室をケアポートよしだ内に置く

理念 生涯健康でいきいきと生活できる小児期からの健康づくりの推進（市民が生涯現役で過ごすことができるまちづくり）

研究所の役割 研究活動と全国ネットワークの確立・情報発信をすることによって、全市をあげて「健康づくり運動」を展開

- ・関係機関と連携した独自の研究活動の形成
- ・保健、福祉、教育施策への研究成果の反映と情報発信
- ・運動指導者などの育成と市民の健康づくり自主グループへの支援
- ・地域医療機関、介護予防事業との連携や、障害児者への支援

くまき雲南

年初めから、道路、森林整備についての国への要望活動が続いています。道路特定財源の一般財源化、治山事業の補助金廃止問題は、地方にとって大きな問題です。とりわけ島根県は、高速道路はもとより一般国道、県道、市町村道の整備・改良率が低く、また県土の80%が森林であるにも係わらず荒廃している山林が多い状況です。そして、その状況はそのまま市の現況でもあるだけに、しっかりとその実情を国へ伝え、また市政運営に反映させなければなりません。

しかし、だからといって地方が都会と比べて暮らしにくいとかというでもないと思います。先日新聞に、東京足立区の小中学校児童生徒の内、実に47%が教育費の補助を受けているとの掲載がありました。これに比べ、島根県は8%。このこと一つで、地方が暮らしやすいとは言えませんが、今、雲南市は雲南市の良さを見つけ、創造し、市民の皆さんがこの地域に自信、愛着、誇りを持って暮らすことの出来るまちづくりを進めています。

汗、知恵を出し、工夫を凝らした地域創りが急がれます。

（雲南市長 速水雄一）



ヤマタノオロチが飲んだ酒づくり「良酒を祈念して」